

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本競技会は、2022 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項によって実施する。

### 2. 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で日程に従い実施すること。
- (2) 各会場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

### 3. 招集について

- (1) **競技者の健康状態を確認のため、招集受付前には必ず、競技日ごとに体調管理チェックシートの確認を受けること。**  
**体調管理チェックシート確認場所：本競技場正面玄関外側付近**

- (2) 招集所は、本競技場第1ゲート外側（100m スタート地点の後方外側）付近に設ける。
- (3) 招集開始時刻（点呼開始時刻）および招集完了時刻（移動開始時刻）は、その競技の開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

競技	招集開始時刻（点呼開始時刻）	招集完了時刻（移動開始時刻）
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド競技 (棒高跳を除く)	競技開始 50分前	競技開始 40分前
棒高跳	競技開始 90分前	競技開始 80分前

- (4) 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際、体調管理チェックシートの確認印、アスリートビブス、競技場内で着用するウェアや持ち込むバック類の商標の点検を受ける。また、携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでないか確認を受ける。
- (5) 代理人による点呼は認めない。他種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人が「多種目同時出場届」（用紙は招集所に準備）に記入し、1種目目の招集時に招集所に提出する。
- (6) リレーのオーダーは、第1組の招集完了時刻の60分前までに、オーダー用紙を招集所に提出すること。また、オーダー用紙提出後も必ず、招集完了時刻までに最終点呼を受ける。
- (7) 競技会の円滑な運営のため、競技者は棄権を極力避けること。やむを得ず棄権をする場合は、必ず「欠場届」を提出すること。  
提出場所：8月19日(金) 大会総務、8月20日(土)・20日(日) 招集所

### 4. アスリートビブスならびに腰ナンバー標識について

- (1) アスリートビブスは、主催者が準備する（2枚配布）。  
鳥取 1～199                      鳥根 201～399                      岡山 401～599、1401～  
広島 601～799、1601～              山口 801～999
- (2) トラック競技に出場する競技者および4x100mRの第4走者、4x400mRの第2走者から第4走者は、腰ナンバー標識を右腰につける。また、男女5000mおよび男女5000mW、男子10000mは胸も別アスリートビブスを着ける。ともに、招集時に競技者係より受け取る。

### 5. 番組編成および競技の抽選について（レーン順・試技順）

- (1) 各県対抗ではあるが、参加資格記録のみで番組編成を行う。
- (2) 400mHと800m以上はタイムレース決勝とし、参加資格記録をもとにランキング下位者から順に番組編成を行う。
- (3) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載された順とする。
- (4) トラック競技の次のラウンドの組み合わせおよびそのレーン順は、アナウンス、大型スクリーンおよびウェブサイトにて発表する。

### 6. 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者に接触しないように注意する。
  - ③ 衣類運搬を行わないので、自分のスタート地点に戻る際は、競技場内のスタンド下通路（正面スタンド下通路は通行禁止）を通る。

## (2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 跳躍およびやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）にマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
- ③ 走高跳ならびに棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまで下記のとおりとする。ただし、気象状況やその他特殊条件によっては、跳躍審判長判断で変更することもある。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cm
棒高跳	男子	任意	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	10cm
	女子	任意	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cm

- ④ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当競技役員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
  - ⑤ 男子・女子走幅跳および男子三段跳のピットは、Aピット：スタンド側、Bピット：トラック側で行い、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。
  - ⑥ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子9mの地点に設置する。
  - ⑦ 投てき競技の計測は、すべて光波距離測定装置を使用する。
- (3) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない（競技規則 TR25.19）。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

## 7. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールについては、個人所有の物を使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を実施する。
- (2) 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。ただし、希望者は各競技開始時刻の90分から60分前までの間に検査所において、検査申請書に記入し検査を受け、合格した物に限り使用することができる。また、検査に合格した用具は主催者が預かり、出場者全員が使用できなければならない。競技終了後に返却する。  
検査場所：本競技場第1ゲート外側（100mスタート地点の後方外側）付近

## 8. 競技用靴について

- (1) スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。また、走高跳およびやり投は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない（競技規則 TR5.2）。
- (2) 靴底の最大の厚さは、フィールド種目（三段跳を除く。）は20mm以内、三段跳は25mm以内、800m未満のトラック種目は20mm以内、800m以上のトラック種目（5000mWを除く。）は25mm以内、5000mWは40mm以内でなければならない（競技規則 TR5.2）。
- (3) 競技前、競技中に競技役員が疑義を抱いた競技用靴については、競技終了後に当該審判長の権限で検査を行うことがある。
- (4) 大会記録以上の新記録が出た場合は、競技終了後に検査を行うことがある。

## 9. 競技方法について

- (1) 県対抗とする。（男女の合計点により県の順位を決定する。）
- (2) 各県上位2名で、第8位までに入賞した者の得点合計とする。
- (3) 得点は、リレーを含め1位8点、2位7点・・・以下8位1点とする。

## 10. 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、アナウンス、大型スクリーンおよびウェブサイトで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合はアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者本人または代理人から担当総務員を通じて当該審判長に対して口頭で行い、大会本部（本競技場1階第9会議室）で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

## 11. 表彰について

- (1) 各種目の第1位から第3位までの競技者の表彰は、正面スタンド前の表彰台で行う（雨天時はエントランスホール内）。
- (2) 表彰は決勝結果アナウンス後直ちに行うので、第1位から第3位までの競技者はすみやかにエントランスホール表彰者控所に集合すること。他の種目への出場で表彰に出られない場合は、必ず代理人を出すこと。
- (3) 最優秀成績者若干名に優秀選手賞を授与する。

## 12. 一般注意事項

- (1) 本競技会の大会本部は、本競技場1階第9会議室に大会期間中設置する。
- (2) 貴重品類等は各自で管理し、万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を一切負わない。
- (3) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病については、傷害保険の加入範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、主催者は責任を一切負わない。  
また、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を主催者は一切負わない。
- (4) プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場種目の招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行う（手続き用紙は大会本部にて用意する。）。
- (5) 記録証明書を希望する競技者（チーム）は、大会本部に一通300円を添えて申し出る。
- (6) 本競技会の各種目第1位が、必ずしも日本陸上競技選手権大会の出場権を得るものではない。
- (7) 横断幕・のぼり旗の掲揚は、各チーム横断幕1枚、のぼり旗は2本以内とし、各スタンドの最上部に通路をふさがないように括りつける。ただし、バックスタンド掲揚ポール付近の使用を禁止する。なお、個人名入りの横断幕等は禁止とする。
- (8) 雨天練習場内にチーム等の陣地を常設することは認めない。
- (9) 更衣は、本競技場1階更衣室が利用できるが、短時間での利用とする。

## 13. 新型コロナウイルス感染症拡大防止について

- (1) 競技中を除いて、マスクを着用する。
- (2) 練習会場、招集所、選手待機場所等では、競技役員の指示に従い、フィジカルディスタンスを確保する。
- (3) 飛沫拡散防止のため、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話は避ける。
- (4) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された時は、必ず岡山陸上競技協会（TEL086-214-3156）へ連絡する。